

RCNP 研究会報告

研究会名: ARIS2014 (2nd Conference on Advances in Radioactive Isotope Science 2014)

開催日: 2014年6月1日—6日

開催場所: 東京大学本郷キャンパス 伊藤国際研究センター

参加者: 407人(国内150人、海外257人(32カ国))

組織:

- 主催: 東大 CNS、理化学研究所(共同主催)
- 後援: RCNP、東北大 CYRIC、KEK、日本物理学会、京大原子炉、JAEA、IUPAP、EPJ
- 組織委員: 延與秀人(議長、理研)、大塚孝治(共同議長、CNS)、本林透(事務局、理研)、矢向謙太郎(事務局、CNS)、青井考(RCNP)、酒井英行(理研)、櫻井博儀(理研)、下浦享(CNS)、中務孝(理研)、中村隆司(東工大)、横山広美(東大)、和田道治(理研)
- 国際助言委員: Ani Aprahamian (USA), Juha Aysto (Finland), Daniel Baye (Belgium), Yorick Blumenfeld (France), Angela Bracco (Italy), Richard Casten (USA) 他 34名。
- プログラム委員: 旭耕一郎(東工大)、岩本昭(順天堂大)、梶野敏貴(国立天文台)、肥山詠美子(理研)、松尾正之(新潟大)、八尋正信(九大)

Web page: <http://ribf.riken.jp/ARIS2014>

概要: 不安定核研究のフラッグシップとなることを目指し、ENAMとRNBを統合して2011年にLeuvenで始まった会議の2回目である。世界の研究施設で進展している不安定核に関する実験研究や、理論分野の発展を俯瞰しつつ今後は議論した。

- 講演は、プレナリーセッション48件、パラレルセッション82件、ポスターセッション239件。若手ポスター賞を設け2回のポスターセッションで合計7名を選出、表彰した。
- 次回は、MSU、TRIUMF 共催で2017年(カナダ南部またはアメリカ北部の西海岸)と決定。
- 6月1日に高校生向け市民講演会「原子核研究の最前線—元素とアイソトープ、そして魔法の数」を開催。登壇者は竹内薫(=ファシリテータ)、M. Thoennessen(MSU)、延與佳子(京大基研)、青井考の各氏。参加者約350名(本会議参加者約1割を含む)。
- 企業展示12ブース、ポスター掲示1件、プログラム冊子広告7件、冠ポスターセッション1件。

予算概略: 計2800万円。

- 主な支出: 会場・設営(830万円)、ブレイク・リフレッシュメント(380万円)、バンケット・レセプション(650万円)、プロシーディングス(200万円)、プログラム冊子・会議グッズ(190万円)
- 主な収入: 参加費(1460万円)、東大 CNS(480万円)、理研(460万円)、企業協賛(330万円)、IUPAP(70万円)

RCNP 予算執行: 採択額60万円、執行額351,300円。大学院生6名の滞在費補助と途上国からの研究者4名の宿泊費補助(理研内ゲストハウス)に使用。